

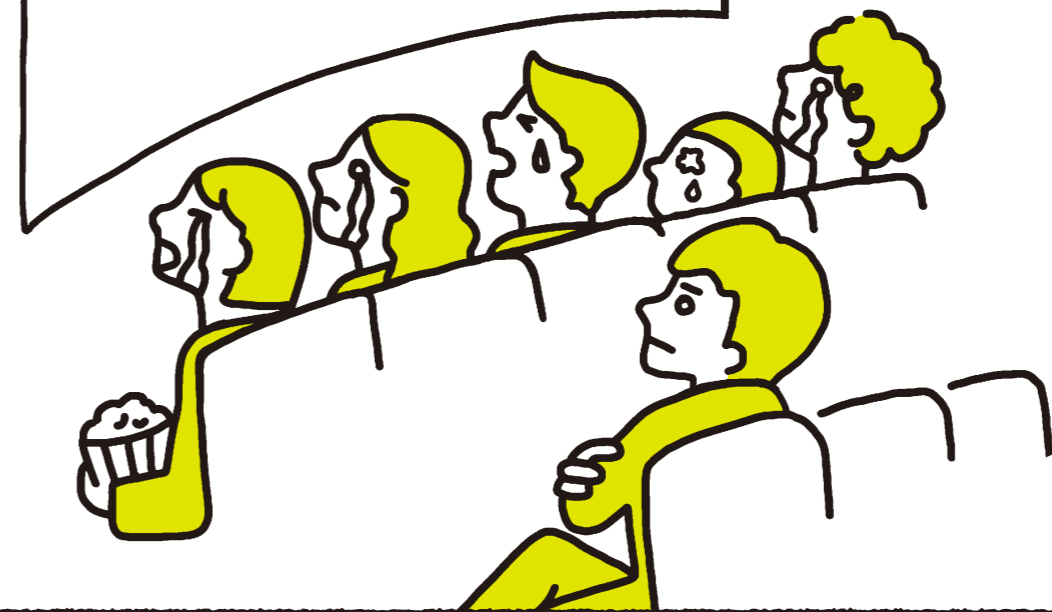
# 「全米が泣いた」に 騙されていませんか？

映画との付き合い方って  
ありますか？  
名嘉山先生、  
教えてください。

アメリカ映画は、19世紀末に  
エジソンらが開発した  
「キネトスコープ」という箱型の  
映写機に映し出される映像を、  
覗き込んで観るのがはじまりでした。

上映時間も1分未満で、ボクシングをする人や、  
日常の風景をただ撮った作品でしたが、英語がわからない  
移民の労働者層を中心に支持を集めました。その後、  
街に投影型の映画館ができ、音声も付き、映画のジャンルも  
分かれていきます。1950年代にテレビが普及すると  
映画がピンチに。映画館をワイドスクリーンにしたり、  
暴力や性描写など、テレビでは流せない過激な内容を  
加えたりすることで巻き返しを図りました。

このように映画は時代に合わせて変化してきましたが、  
第二次世界大戦中は、相手国を悪い敵に仕立てて戦意を  
高めさせるようなプロパガンダ映画も多く作られました。  
現代はネットの普及で映画も動画もより身近になりましたが、  
作品がどんな意図で作られたのか考えながら観るように  
しないと、素晴らしい映像や音楽、ストーリーの世界に  
引き込まれ、プロパガンダ映画のように  
騙されてしまうかもしれません。  
一歩引いた目線で楽しむといいと思います。



総合文化学科

准教授 名嘉山 リサ



和光3分大学

ご予約・詳細は  
ホームページへ

予約制

和光大学のオープンキャンパス 2023 模擬授業を開催!

7/16(日)・7/23(日)・8/6(日)・8/19(土)

現代人間学部

表現学部

経済経営学部

小田急線鶴川駅から

徒歩約15分

<https://www.wako.ac.jp/>

ひとりを光らせる

# 和光大学